

平成 29 年 4 月吉日

一般社団法人 山形県作業療法士会
会員 各位

第 25 回山形県作業療法学会
学会長 佐藤 千鶴子
実行委員長 今野 学

第 25 回山形県作業療法学会のご案内

謹啓

陽春の候、会員の皆様におかれましてはますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、第 25 回山形県作業療法学会が差し迫ってまいりましたので、ご案内申し上げます。

特別講演では一般財団法人 竹田健康財団 介護福祉本部長代理の太田睦美先生をお迎えし、「明日の暮らしを支える作業療法を実践しましょう～地域包括ケアシステムを活用して～」というテーマでご講演を頂きます。また、一般公開講座では、医療法人山容会 山容病院 理事長であり、精神保健指定医、精神科専門医であります小林和人先生を講師にお迎えし、「認知症についての数々の誤解」をテーマにご講演を頂きます。更に多数の演題発表やミニレクチャー、機器展示となっております。

皆様の多数のご参加をお待ち申し上げます。

謹白

記

1. 会期 平成 29 年 5 月 27 日（土） 9:30～17:50
28 日（日） 9:00～13:00
2. 会場 酒田市公益研修センター多目的ホール（東北公益文科大学キャンパス内）
酒田市飯森山 3 丁目 5 - 1 TEL 0234-41-1111
3. 学会テーマ 『未来をつくる作業療法 ～深化のとき～』

4. 参加費

両日参加 4,000 円（非会員 8,000 円・学生 1,000 円）

1 日参加 2,000 円（非会員 4,000 円・学生 500 円）

※参加費は、当日会場にてお支払いください。

※4 月入職者を除き、学会当日において一般社団法人 山形県作業療法士会平成 29 年度会費未納入者は、非会員扱いになりますので、ご注意ください。受付で会員証の提示をお願い致します。

5. 主な内容

- ・特別講演 太田 睦美 先生（一般財団法人 竹田健康財団 介護福祉本部長代理）
テーマ 「明日の暮らしを支える作業療法を実践しましょう～地域包括ケアシステムを活用して～」
- ・一般公開講座 小林 和人 先生（医療法人山容会 山容病院 理事長）
テーマ 「認知症についての数々の誤解」

- ・ミニレクチャー 「栄養とリハビリテーション」「自動車運転支援について」「働きたいを支える作業療法～就労・復職支援～」を予定しております。
- ・機器展示 6社の展示を予定しています。
- ・演題発表 30題を予定しています。

6. 日程

5月27日(土)	内容	5月28日(日)	内容
9:30~10:15	受付	9:00~ 9:20	受付
10:15~10:45	開会式	9:20~10:20	県士会総会
11:00~11:50	演題発表	10:30~12:30	特別講演(太田睦美先生)
11:50~13:00	昼食	12:30~13:00	閉会式
13:00~14:30	一般公開講座(小林和人先生)		
14:50~15:40	演題発表		
15:50~16:40	演題発表		
16:50~17:50	ミニレクチャー		
19:00~	懇親会		

7. 宿泊

宿泊はご用意しておりませんので、各自での手配をお願い申し上げます。

8. 懇親会

1日目終了後に、懇親会を準備しております。県士会会員が一堂に集まる機会です。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会場 ホテルリッチ&ガーデン酒田

〒998-0834 山形県酒田市若竹町 1-1-1 TEL 0234-26-1115

URL www.richgarden.co.jp

会費 5,000円

9. 学会参加申し込み

参加申し込みは、県士会ホームページの第25回山形県作業療法学会からお申し込みください。当日受付も可能ですが、準備の都合上、事前の申し込みにご協力ください。

参加申し込み締め切り 平成29年4月21日(金)

10. 学会に関するお問合せ先

第25回山形県作業療法学会 事務局

日本海総合病院 酒田医療センター 後藤 優子

〒998-8585 山形県酒田市千石町 2-3-20

TEL 0234-23-1111 FAX 0234-26-1946

電子メールアドレス : rh-yuyu@nihonkai-hos.jp

11. 会場案内図



* 発表演題 (順不同 敬称略)

自動車運転の再開により語り部の目標を現実的にした症例

～成功体験の積み重ねによる介入～

・鶴岡協立リハビリテーション病院 太田麻美

柿もぎ動作の獲得を目指して

・地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院酒田医療センター 斎藤渚沙

下肢骨折患者に対する作業療法士の関わり

～痛みの軽減と畑仕事の再開を目指して～

・地方独立行政法人・山形県酒田市病院機構 日本海総合病院酒田医療センター 斎藤愛美

「手芸がしたい」希望に向けたアプローチ

・三友堂リハビリテーションセンター 渡部美月

調理動作の獲得を目指した、右上腕骨骨幹部骨折による橈骨神経麻痺が残存した症例

～スプリント、随意運動介助型電気刺激装置 (IVES) を用いて～

・医療法人社団 松柏会 至誠堂総合病院 富沢綾子

脳卒中急性期に磁気刺激を用いた上肢機能訓練の効果

・山形市立病院済生館 椿野幸子

職業復帰を目的に CI 療法を実施し麻痺手の機能向上を認めた一症例

・済生会山形済生病院 洪間勇人

外傷性伸筋腱断裂 ZoneⅢ修復術後に対し splint を用いアスリート復帰を目指した一症例

・済生会山形済生病院 赤沼昇也

情動障害を呈した症例に対しての拒否から参加までの振り返り

～障害像、脳機能のメカニズムを整理して～

・鶴岡協立リハビリテーション病院 佐藤弘人

高次脳機能障害と失語症を呈した症例が独居再開を目指す

～生活行為向上マネジメントを用いての他職種連携～

- ・医療法人社団 松柏会 至誠堂総合病院 清水彩香

排泄自立に向けた関わり

～病棟との連携を通して～

- ・三友堂リハビリテーションセンター 鈴木あずさ

社会的背景により入院が長期化した症例への退院支援

～自宅退院の可能性を視野に入れて～

- ・三友堂リハビリテーションセンター 阿部智大

認知機能の向上が見られた症例

～馴染みの作業活動や役割の獲得がもたらすもの～

- ・老人保健施設明日葉 白幡彩夏

できる作業の模索を通し日記が生活の一部となった一症例

～療養病棟での長期的な関わりを振り返って～

- ・鶴岡協立リハビリテーション病院 関明日歌

脳炎により多彩な高次脳機能障害を呈した症例の職場復帰に向けた関わり

- ・国立大学法人 山形大学医学部附属病院リハビリテーション部 菊池瑞恵

活動意欲の低下した症例への関わり

- ・三友堂病院 安達彩穂

座位姿勢の再獲得を目指して

～腹臥位後の姿勢矯正で Pusher 症候群が改善した 1 症例～

- ・鶴岡協立リハビリテーション病院 斎藤邦

複視を有する症例に対し川平法を用いた作業療法

～家庭内役割の充足，復職を見据えた関わり～

- ・鶴岡協立リハビリテーション病院 佐々木駿

積極的な腱滑走訓練により伸展不全が改善した伸筋腱断裂の一例

～Zone VIにおける複数指伸筋腱断裂～

- ・国立大学法人 山形大学医学部附属病院リハビリテーション部 柴橋広智

上腕二頭筋を切除した症例の前腕回内外運動

～悪性軟部腫瘍患者における筋電図学的検討～

- ・国立大学法人 山形大学医学部附属病院リハビリテーション部 辺見大剛

自宅へ帰るために新しい自分と向き合う

～ストーリーセルフケアに着目して～

- ・医療法人社団 山形愛心会 庄内余目病院 高橋秀典

事例に合わせた自助具の作製により食事動作獲得に繋がった一例

～早期の段階で、残存機能を活かした関わり～

- ・医療法人篠田好生会 篠田総合病院 山上夏紀

目標共有により能動的な ADL 遂行が可能となった症例

- ・医療法人篠田好生会 篠田総合病院 佐藤真衣子

麻痺側上肢での実用的な箸操作の獲得と食事の質の向上が見られた例

～手の構え、残存機能に着目した自助具の変更・検討～

- ・医療法人篠田好生会 篠田総合病院 佐藤菜月

当院の自動車運転再開支援について

- ・鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 佐藤摩美

保育園での集団適応に結びついた症例

～児童発達支援での介入～

- ・アーチ 今田美奈子

「地域作業療法への意識と実践に関する調査」報告

- ・山形県立保健医療大学 慶徳民夫

精神デイケアにおける創作活動の有効性についての考察

～DCに通うのがやっと、言葉を使うことが苦手、人と関わるのが不得意という方に創作を意識して～

- ・社会医療法人二本松会かみのやま病院 精神デイケアむづれは 後藤香織

「就労したい」という思いに寄り添って

～精神デイケアでの就労支援の経験～

- ・社会医療法人二本松会 山形さくら町病院 精神科デイケア 塩崎千尋

ふれあい合同面接会 参加企業の現状と現場指導担当者が考える障害者雇用の課題

- ・医療法人杏山会吉川記念病院 宇野郁萌

以上